

令和2年度青少年育成町民会議

有田川町

少年メッセージ

講評

少年メッセージ審査委員長

小川小学校校長 古川弘樹

有田川町少年メッセージは、中学生が日頃から感じていることや考え、していることを発表することにより、同世代の青少年が互いに理解し合い、大人が中学生への正しい理解を深め、郷土の未来を担う若い世代の育成を図ることを目的として毎年開催しています。

今年には新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、有田川町少年メッセージ大会は中止となりましたが、4校の町立中学校から全605作品の参加があり、そこから選出された26作品から審査を行いました。

作品はどれも力作ばかりで、中学生として主張がはっきりし、たくさんの提言を投げかけていました。特に感染予防のために学校が休校に

なったり、当たり前だったことが当たり前でなくなったりしたことなど、新型コロナウイルス感染症に対するさまざまな思いを抱いたメッセージが多かったです。

メッセージ審査に携わる中で、人は人との関わりの中で多くのことに気づき、学び、成長していく、そして大人が何気なく声をかけることが子どもたちの励みになることを改めて確認することができました。応募していただいた中学生に大きな拍手を送りたいと思います。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願いつつ、現状を正しくとらえて、感染予防の取り組みを続けていきましょう。

優秀作品

「よりよい未来にするために」

吉備中学校1年

保田美羽

「私の思いえがく平和」

吉備中学校1年

新田彩良

「心の中のタイムカプセル」

吉備中学校1年

大西渚

「朝、もっとねたい」

吉備中学校1年

東和加奈

「今、私たちがすべきこと」

吉備中学校2年

田村海菜

「支え合ってできる友情」

吉備中学校3年

芝結香

「人間と科学の進歩について」

八幡中学校2年

小田百花

「全ての人が暮らしやすい世界」

金屋中学校2年

中西一花

「悪いことだけじゃない」

金屋中学校3年

徳岡智美

「当たり前ではないこと」

金屋中学校3年

服部叶愛

「人に支えられている」

石垣中学校3年

松島登希那